

大学評価 学位授与

機構ニュース

*National Institution for Academic Degrees and
University Evaluation*

第 37 号

平成 17 年 3 月発行



石川高等教育局長より認証評価機関としての認証書を手交される木村機構長（H17.1.14）

主な記事

◆大学評価事業の状況	1	◆機構の窓	14
◆学位授与事業の状況	7		

目 次

◆大学評価事業の状況

■認証評価機関としての認証	1
■大学機関別認証評価について	
○大学機関別認証評価に関する説明会の開催	1
○大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催	2
■短期大学機関別認証評価について	
○短期大学機関別認証評価に関する説明会の開催	2
○短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催	3
■高等専門学校機関別認証評価について	
○高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）の評価結果の確定	3
○独立行政法人大学評価・学位授与機構が行う高等専門学校機関別認証評価について（報告）	4
■法科大学院認証評価について	
○法科大学院認証評価に関する説明会の開催	4
■日英高等教育に関する協力プログラムについて	
○「Leadership Development－リーダーシップの向上－」プロジェクト 英国訪問の実施と今後の展開	5

◆学位授与事業の状況

■短期大学・高等専門学校卒業者、専門学校修了者等に対する学士の学位授与関係	
○小論文試験・面接試験実施－平成16年度10月期－	7
○機構にて初めての面接試験の実施	7
■認定課程（各省庁大学校）修了者に対する学位授与関係	
○19人に博士の学位を授与－大学院博士課程相当の課程修了者－	8
■認定専攻科関係	
○新たに20専攻を認定－平成17年度－	8
○認定専攻科の教育の実施状況等の審査	9
■課程認定（各省庁所管大学校）関係	
○国立看護大学校研究課程部看護学研究科を認定	11
○各省庁大学校認定課程の教育の実施状況等の審査	12
■平成17年度学位授与事業関係	
○平成17年度学士の学位授与申請受付期間及び試験日程	12
○学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物	13

◆機構の窓

○会議の開催状況	14
○研究部研究会開催状況	16
○海外渡航一覧（平成16年12月～平成17年2月）	16
○自己啓発研修「一般英会話」（第2回）の実施	17

大学評価事業の状況

認証評価機関としての認証

平成17年1月14日（金）に、大学、短期大学及び専門職大学院のうち法科大学院の認証評価を行う認証

評価機関として、学校教育法第69条の4の規定により文部科学大臣の認証を受けました。

大学機関別認証評価について

○ 大学機関別認証評価に関する説明会の開催

国公立大学の評価担当者等を対象として、当機構が実施する大学機関別認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「大学機関別認証評価に関する説明会」を以下の日程で行いました。

説明会には、国立87大学、公立49大学、私立229大学の合計365大学から参加がありました。

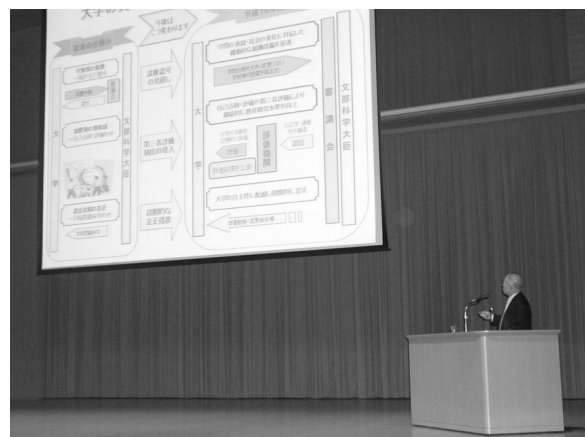
平成16年12月1日（水）の東京会場における説明会では、冒頭の木村機構長の挨拶、川口評価研究部長による「大学機関別認証評価実施大綱」、「大学評

価基準（機関別認証評価）」、「自己評価実施要項」、「評価実施手引書」及び「訪問調査実施要項」の説明並びに馬場評価事業部長による「申請手続きについて」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、説明会の配付資料及び説明会において参加者から寄せられた主な質問を加えた「大学機関別認証評価に関するQ & A」を、当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）に掲載しています。

<大学機関別認証評価に関する説明会 日程>

開催地区	開催日時	会場
札幌	平成16年12月15日（水）	札幌プリンスホテル
東京	平成16年12月1日（水） 2日（木）	国立オリンピック記念 青少年総合センター
大阪	平成16年12月20日（月）	メルパルクOSAKA
福岡	平成16年12月6日（月）	KKRホテル博多



大学機関別認証評価に関する説明会（H16.12.1）

○ 大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催

平成17年2月22日(火)に国公私立大学の自己評価担当者等を対象として、自己評価書の作成などについて説明を行うとともに、参加者との質疑応答などを通じて関係者の評価に対する理解をより深めることを目的として、「自己評価担当者等に対する研修会」を開催しました。

当日は、国立52大学、公立13大学、私立等27大学の合計92大学から参加があり、冒頭の荒船理事の開会挨拶、川口評価研究部長による機関別認証評価の

概要説明、荻上教授による自己評価の方法等の説明、齊藤助教授による各基準の分析に当たっての留意点の説明、馬場評価事業部長による今後のスケジュールの説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、当日の配付資料については、当機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) に掲載しています。

短期大学機関別認証評価について

○ 短期大学機関別認証評価に関する説明会の開催

国公私立短期大学の評価担当者等を対象として、当機構が実施する短期大学機関別認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「短期大学機関別認証評価に関する説明会」を以下の日程で行いました。

説明会には、国立2短期大学、公立22短期大学、私立104短期大学の合計128短期大学から参加がありました。

平成16年12月7日(火)の福岡会場における説明会では、冒頭の荒船理事の挨拶、荻上教授による「短期大学機関別認証評価実施大綱」、「短期大学評

価基準(機関別認証評価)」の説明、齊藤助教授による「自己評価実施要項」、「評価実施手引書」及び「訪問調査実施要項」の説明並びに河本企画調整室長による「申請手続きについて」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、説明会の配付資料及び説明会において参加者から寄せられた主な質問を加えた「短期大学機関別認証評価に関するQ&A」を、当機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) に掲載しています。

< 短期大学機関別認証評価に関する説明会 日程 >

開催地区	開催日時	会場
札幌	平成16年12月16日(木)	札幌プリンスホテル
東京	平成16年12月13日(月)	学術総合センター
大阪	平成16年12月21日(火)	メルパルク OSAKA
福岡	平成16年12月7日(火)	KKRホテル博多



短期大学機関別認証評価に関する説明会 (H16.12.7)

○ 短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会の開催

平成17年2月23日(水)に国公立短期大学の自己評価担当者等を対象として、自己評価書の作成などについて説明を行うとともに、参加者との質疑応答などを通じて関係者の評価に対する理解をより深めることを目的として、「自己評価担当者等に対する研修会」を開催しました。

当日は、国立1短期大学、公立12短期大学、私立4短期大学の合計17短期大学から参加があり、冒頭の長谷川理事の開会挨拶、川口評価研究部長による

機関別認証評価の概要説明、荻上教授による自己評価の方法等の説明、齊藤助教授による各基準の分析に当たっての留意点の説明、馬場評価事業部長による今後のスケジュールの説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、当日の配付資料については、当機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) に掲載しています。



自己評価担当者等に対する研修会 (H17.2.23)

高等専門学校機関別認証評価について

○ 高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）の評価結果の確定

平成16年度に実施した高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）については、各対象高等専門学校からの意見の申立てを踏まえ、平成17年1月31日(月)開催の高等専門学校機関別認証評価委員会の審議を経て、評価結果を確定し、当該高等専門学校及び設置者に通知しました。

また、確定した対象校ごとの評価結果に、全体を通じての概要等を加えたものを「高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）評価報告」として取りまとめました。詳しくは、当機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) に掲載しています。

<高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）対象校一覧>

区 分	評 価 対 象 校	区 分	評 価 対 象 校
国 立	宮城工業高等専門学校	国 立	久留米工業高等専門学校
国 立	仙台電波工業高等専門学校	公 立	東京都立航空工業高等専門学校
国 立	富山商船高等専門学校	私 立	金沢工業高等専門学校
国 立	徳山工業高等専門学校	私 立	近畿大学工業高等専門学校

○ 独立行政法人大学評価・学位授与機構が行う高等専門学校機関別認証評価について（報告）

平成17年度からの本格実施に向け、高等専門学校機関別認証評価委員会では、試行的評価を受けた高等専門学校や評価担当者の意見を踏まえ、試行的評価の実施大綱及び評価基準を見直し、「独立行政法人大学評価・学位授与機構が行う高等専門学校機関別認証評価について（報告）－高等専門学校機関別認証評価実施大綱（案）及び高等専門学校評価基準

（機関別認証評価）（案）－」を取りまとめ、関係団体等に対して意見照会を行いました。

今後、関係団体等からいただいた意見を踏まえ、高等専門学校機関別認証評価委員会において再度審議・決定することとしています。

なお、本報告については、当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp>）に掲載しています。

法科大学院認証評価について

○ 法科大学院認証評価に関する説明会の開催

国公立大学の評価担当者等を対象として、当機構が実施する法科大学院認証評価の趣旨・目的、実施方法等についての説明を行うため、「法科大学院認証評価に関する説明会」を以下の日程で行いました。

当日は、国立23大学、公立1大学、私立41大学の合計65大学から参加があり、冒頭の木村機構長の挨拶、川口評価研究部長による機構が実施する法科大学院認証評価の評価方法等に関する説明、磯部特任教授による「法科大学院評価基準要綱」、「自己評価

実施要項」、「評価実施手引書」及び「訪問調査実施要項」の説明並びに馬場評価事業部長による「法科大学院認証評価（予備評価）申請手続きについて」の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、説明会の配付資料及び説明会において参加者から寄せられた主な質問を加えた「法科大学院認証評価に関するQ&A」を、当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）に掲載しています。

< 法科大学院認証評価に関する説明会 日程 >

開催地区	開催日時	会場
東京	平成16年12月10日（金）	国立オリンピック記念 青少年総合センター



法科大学院認証評価に関する説明会（H16.12.10）

日英高等教育に関する協力プログラムについて

○「Leadership Development－リーダーシップの向上－」プロジェクト 英国訪問の実施と今後の展開

「日英高等教育に関する協力プログラム」に基づき、平成16年1月から「Leadership Development－リーダーシップの向上－」をテーマに第2プロジェクトが開始され、昨年6月に東京で開催された公開フォーラムに続くものとして、今回英国訪問が実施されました。

今回の英国訪問では、開催順にリーダーシップ・ファンデーション（Leadership Foundation）による「一日マスタークラス」、「Leadership and Governance in Higher Education－日英高等教育におけるリーダーシップとガバナンス－」をテーマとしたポリシー・フォーラム、Sir David Watson ブライトン大学長と大森不二雄熊本大学教授による講演会、日本側参加大学が英国の6大学を1～3日間の日程で訪問したスタディ・ビジットの4プログラムを実施しました。日本側推進委員として、木村機構長、大崎人間文化研究機構理事をはじめ、日本学術振興会、国立大学財務・経営センター及び文部科学省から計7名、日本側参加大学からは、大西東北大学副総長、油田筑波大学副学長、松永東京農工大学工学部長、稲垣大阪教育大学長、柳原九州大学理事・副学長、崎元熊本大学長の各大学代表者及び関係者の他、日本学術振興会の現地スタッフなど総勢約40名の方々にご参加、ご協力をいただきました。

平成17年1月31日（月）にイングランド高等教育財政カウンシル（HEFCE）のロンドンオフィスを会場として行われた「一日マスタークラス」は、英国における高等教育のリーダーシップ養成を目的とした機関として設立されたリーダーシップ・ファンデーションによるもので、実際に英国で行われている学長、副学長等、主に大学運営を行う職員を対象として行われているマスタークラスを、今回は日本からの参加者のために「一日マスタークラス」としてアレンジした内容で開催されました。



マスターコース（H17.1.31）

当日は、出席者の自己紹介の後、Mr. Ewart Wooldridgeリーダーシップ・ファンデーション理事長から、イギリスでの高等教育機関におけるリーダーシップ、大学の管理運営及び大学経営に関する主要な調査結果について、リーダーの視点からプレゼンテーションが行われました。その後の議論や質疑では、各参加大学の学長、副学長をはじめとするリーダーシップを発揮する立場、または発揮させる立場の方々から、問題点や課題の提起及び議論、事例の紹介などがなされ、活発に議論が行われました。参加者からは「有意義な『一日マスターコース』であった」「興味深い議論であった」などのご意見、ご感想をいただきました。

この後、会場をブリティッシュ・カウンシル・ロンドンに移し、日本学術振興会主催のレセプションが行われ、木村機構長の乾杯の挨拶のあと、ここでも多くの参加者が率直な意見交換や談笑する風景が見られるなど、盛会のうちにレセプションは終了し、第1日目の全プログラムが終了しました。



レセプション（H17.1.31）

2月1日（火）には、ブリティッシュ・カウンシル・ロンドンに於いて「Leadership and Governance in Higher Education－日英高等教育におけるリーダーシップとガバナンス－」をテーマにポリシー・フォーラムが開催されました。

英国側からは推進委員であるSir Howard Newby HEFCE理事長をはじめ、英国参加大学関係者を含めた24名、日本側からは推進委員や日本側参加大学関係者を含めた22名の総勢46名の方々にご出席いただきました。まず最初にブリティッシュ・カウンシル駐日副代表であるMs. Lesley Haymanより歓迎の挨拶があり、続いて開会の挨拶では日英双方からSir Howard Newby理事長、木村機構長及びMr. Robin Baker ブリティッシュ・カウンシル副代表の挨拶が行われました。このフォーラムは大きく2

つに分けられ、午前に日本側の基調講演を中心とした議論、午後に英国側の基調講演を中心とした議論、及び全体のまとめが行われました。日本側の基調講演として大崎理事より「Main Issues of Governance and Leadership in “National University Corporation”」と題し、日本側の視点から「国立大学法人化」におけるリーダーシップと管理運営の問題点について講演をいただきました。この中で、現在の国立大学改革における目的と方法について紹介がなされるとともに、管理運営構造についても講演をいただきました。その後、この基調講演について英国側の6大学よりコメントや日本の高等教育制度等に対する質問や意見が出され、活発な議論が行われました。そして午後からはSir Howard Newby 理事長から「Leadership, Governance and Management in Higher Education in the 21st Century」と題し、国際的な知識経済の枠組みの中で、知識基盤に基づく組織としての高等教育分野が直面する様々な問題と課題について講演をいただきました。その後、午前とは逆に日本側6大学よりコメントがなされ、高等教育制度の現状及び課題等について活発な意見交換、議論がなされました。

また、全体のまとめにおいて、日英高等教育に関する協力プログラムの今後の展開が話し合われ、本プログラムの実施について、今後2年間期間を延長する合意がなされました。また、本年10月には日本においてフォーラムを開催することや、今回参加の英国側大学が日本側の各ペアリング大学を訪問してスタディ・ビジットを実施することが提案されるなど、今回の英国訪問での成果を生かした、両国の関係を一層強化することが日英双方により確認されました。



ポリシー・フォーラム (H17.2.1)

ポリシー・フォーラム終了後、ダイワ・ファンデーション(大和日英基金)に会場を移し、Sir David Watsonブライトン大学長と大森不二雄熊本大学教授による講演会を開催しました。両氏は昨年6月の日英合同推進委員会後でも講演会を開催しており、今回は「Two stories of incorporation: the UK and Japan」をテーマに興味深い講演をいただき

ました。講演会には招待者を含め約80名が出席を得ており、盛会のうちに本講演会が終了しました。

2月2日(水)からは、今回の英国訪問の大きな目的の一つであるスタディ・ビジットが実施されました。日本側参加6大学が1～3日間の日程で英国の各地のペアリング大学へ赴き、各大学のマネジメント全般及び各大学における必要かつ重要度の高いテーマ・関心事項について、新旧学問分野の統合や、リーダーシップとマネジメント、社会連携、人的資源・人材育成、教育・研究面における国際連携など、個別にテーマを設け、日本と英国それぞれの知識や経験について、議論や意見交換がなされ、これらを通じ参加大学間の友好関係、協力関係が深まりました。

また、ペアリング大学間において、学生、研究者及びスタッフなどの人的相互交流や研究交流など、具体的な交流の計画について話し合いがなされ、交流協定締結に向けて話し合いを開始した大学もあるなど、日英双方の参加各大学において有意義かつ効果的なスタディ・ビジットとなっており、実りの多い英国訪問となったようです。

＜ペアリング大学一覧＞

日本側参加大学	英国側ペアリング大学
東北大学	マンチェスター大学
筑波大学	シェフィールド大学
東京農工大学	ブライトン大学
大阪教育大学	ロンドン大学 (IoE)
九州大学	グラスゴー大学
熊本大学	ノッティンガム大学



スタディ・ビジット (H17.2.2～4)

最後になりましたが、今回の英国訪問実施について、各参加大学及び推進委員会委員の各所属機関をはじめ、在英国日本大使館、日本学術振興会ロンドン事務所等の現地スタッフの方々など、多くの方にご協力、ご支援をいただきました。改めてお礼申し上げます。

学位授与事業の状況

短期大学・高等専門学校卒業生、専門学校修了者等に対する学士の学位授与関係

○ 小論文試験・面接試験実施 — 平成16年度10月期 —

短期大学・高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等からの平成16年度10月期の学位授与申請を受け、平成16年12月12日（日）に当機構で面接試験が、平成

16年12月19日（日）に札幌、東京、大阪、福岡で小論文試験が実施されました。

各試験地区別受験者数は次表のとおりです。

試験区分	試験地区	受験者数 (人)
小論文試験	札幌地区 (北海道大学)	109
	東京地区 (東京大学)	774
	大阪地区 (大阪大学)	642
	福岡地区 (九州大学)	443
面接試験	東京地区 (当機構)	295



小論文試験（H16.12.19 東京大学）

○ 機構にて初めての面接試験の実施

平成16年12月12日（日）に当機構において、専攻分野『芸術学』の「音楽」「美術」の各専攻区分について、面接試験が実施されました。

平成3年度の学位授与機構の創設以来、試験会場については大学等の施設を借用してきましたが、平成15年4月、小平市に新施設が完成したのを契機に、今回初めて自らの施設で試験を実施し、295人の受

験者が面接試験に挑みました。

面接会場となる施設内のほとんどの会議室を「面接試験仕様」に変更させるとともに、床面やエレベーターの内部には養生を施すなど受験者の作品の保護に配慮しました。

今後もより良い環境の中で面接試験が実施できるよう努力していきたいと考えております。



作品を搬入する受験者（H16.12.12 当機構）

認定課程（各省庁大学校）修了者に対する学位授与関係

○ 19人に博士の学位を授与 —大学院博士課程相当の課程修了者—

平成16年10月に博士の学位授与申請のあった防衛医科大学校医学教育部医学研究科修了者19人全員に博士（医学）の学位が授与されました。

医学・薬学専門委員会医学部会での論文審査及び試験の結果に基づき、平成17年2月10日（木）開催の学位審査会で審査の結果、学位授与が決定されました。

また、平成17年2月22日（火）には学位記伝達式が行われました。



学位記伝達式（H17.2.22）

<博士の学位授与申請者及び授与者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	申請者数及び授与者数 (人)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医 学	19

認定専攻科関係

○ 新たに20専攻を認定 —平成17年度—

平成16年9月に認定の申出のあった短期大学及び高等専門学校専攻科について、各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成17年2月10日（木）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われ、一部の専攻科に

ついては補正の後、14校20専攻（短期大学専攻科6校7専攻、高等専門学校専攻科8校13専攻）を平成17年度から認定することが決定され、機構長から専攻科の設置者等に通知されました。

1. 短期大学専攻科（6校7専攻）

名 称	専 攻 名	入学 定員 (人)	修業 年限 (年)	設 置 者
1 富山県立大学短期大学部	環境システム工学専攻	8	2	富山県
2 新見公立短期大学	地域看護学専攻科	15	1	阿新広域事務組合
3 島根県立看護短期大学	地域看護学専攻	30	1	島根県
	助産学専攻	15	1	
4 岩手看護短期大学	地域看護学専攻	20	1	学校法人 岩手女子奨学会
5 山野美容芸術短期大学	芸術専攻	40	2	学校法人山野学苑
6 富山短期大学	食物栄養専攻	15	2	学校法人 富山国際学園

2. 高等専門学校専攻科（8校13専攻）

名 称		専 攻 名	入学 定員 (人)	修業 年限 (年)	設 置 者
1	富山商船高等専門学校	海事システム工学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		制御情報システム 工学専攻	8	2	
2	鳥羽商船高等専門学校	海事システム学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		生産システム工学専攻	8	2	
3	広島商船高等専門学校	海事システム工学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		産業システム工学専攻	8	2	
4	大島商船高等専門学校	海洋交通システム学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		電子・情報システム 工学専攻	8	2	
5	弓削商船高等専門学校	海上輸送システム 工学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		生産システム工学専攻	8	2	
6	宇部工業高等専門学校	経営情報工学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
7	大阪府立工業高等専門学校	総合工学システム専攻	20	2	大阪府
8	近畿大学工業高等専門学校	生産システム工学専攻	18	2	学校法人近畿大学

○ 認定専攻科の教育の実施状況等の審査

当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校の専攻科は、認定後5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

本年度は平成6年4月1日及び平成11年4月1日認定の専攻科に係る審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成17年2月10日（木）開催の学

位審査会において教育の実施状況等の適否について次頁の一覧のとおり審査が行われ、一部の専攻科については補正の後、審査対象となった20校33専攻（短期大学専攻科14校18専攻、高等専門学校専攻科6校15専攻）全てが「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知されました。

<平成16年度教育の実施状況等の審査結果「適」と判定された専攻科一覧>

1. 短期大学専攻科（14校18専攻）

	名 称	専 攻 名	入学 定員 (人)	修業 年限 (年)	設 置 者
1	東北大学医療技術短期大学部	助産学特別専攻	20	1	国立大学法人 東北大学
2	奈良県立医科大学看護短期大学部	助産学専攻	15	1	奈良県
3	愛媛県立医療技術短期大学	助産学専攻	20	1	愛媛県
4	札幌国際大学短期大学部	幼児教育専攻	10	2	学校法人 札幌国際大学
5	尚絅学院大学女子短期大学部	食物栄養専攻	20	2	学校法人尚絅学院
6	自治医科大学看護短期大学	助産学専攻	15	1	学校法人 自治医科大学
7	十文字学園女子大学短期大学部	国文専攻	5	1	学校法人十文字学園
		英文専攻	5	1	
8	聖徳大学短期大学部	保育専攻 (昼間主コース)	30	2	学校法人 東京聖徳学園
		(夜間主コース)	15	2	
		通信教育部保育専攻	50	2	
9	昭和女子大学短期大学部	英語英文学専攻	20	1	学校法人 昭和女子大学
		食物科学専攻	10	1	
10	日本大学短期大学部	食物栄養専攻	20	2	学校法人日本大学
11	龍谷大学短期大学部	仏教専攻	30	2	学校法人龍谷大学
		福祉専攻	40	1	
12	常磐会短期大学	幼児教育専攻	20	1	学校法人常磐会学園
13	夙川学院短期大学	美術・デザイン専攻	25	2	学校法人夙川学院
14	広島文化短期大学	栄養専攻	5	2	学校法人 広島文化学園

2. 高等専門学校専攻科（6校15専攻）

名 称		専 攻 名	入学 定員 (人)	修業 年限 (年)	設 置 者
1	旭川工業高等専門学校	生産システム工学専攻	12	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		応用化学専攻	4	2	
2	秋田工業高等専門学校	生産システム工学専攻	8	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		環境システム工学専攻	8	2	
3	小山工業高等専門学校	電子システム工学専攻	12	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		物質工学専攻	4	2	
		建築学専攻	4	2	
4	豊田工業高等専門学校	電子機械工学専攻	8	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		建設工学専攻	8	2	
		情報科学専攻	4	2	
5	高松工業高等専門学校	機械電気システム工学専攻	12	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		建設工学専攻	4	2	
6	八代工業高等専門学校	生産情報工学専攻	8	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		環境建設工学専攻	4	2	
		生物工学専攻	4	2	

課程認定（各省庁所管大学校）関係

○ 国立看護大学校研究課程部看護学研究科を認定

平成16年9月に認定の申出があった国立看護大学校研究課程部看護学研究科について、専門委員会における教育課程及び教員審査等の審査結果に基づき、平成17年2月10日（木）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われ、課程を認定することが決定され、機構長から当該所管省庁を通じて

教育施設の長へ通知されました。

機構による課程の認定は、平成13年3月の国立看護大学校看護学部看護学科（大学の学部に相当する課程）、防衛大学校理工学研究科後期課程（大学院の博士課程に相当する課程）以来となります。

名 称	入学 定員 (人)	修業 年限 (年)	所 管 省 庁
国立看護大学校研究課程部看護学研究科	15	2	厚生労働省

○ 各省庁大学校認定課程の教育の実施状況等の審査

各省庁大学校等の、当機構から大学又は大学院に相当する教育を行う課程の認定を受けている教育施設については、認定後5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

本年度は平成6年度に課程認定した独立行政法人水産大学校水産学研究科について、教育の実施状況

等の審査を行いました。

専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成17年2月10日（木）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、「適」と判定され、機構長から当該所管省庁を通じて教育施設の長へ通知されました。

名 称	入学 定員 (人)	修業 年限 (年)	所 管 省 庁
独立行政法人水産大学校水産学研究科	10	2	農林水産省

平成17年度学位授与事業関係

○ 平成17年度学士の学位授与申請受付期間及び試験日程

申請時期	受 付 期 間	試 験 の 区 分	試 験 場	試 験 日
4 月 期	平成17年4月1日（金） ） 平成17年4月7日（木） ※当日消印有効 ※申請書類の提出方法は 郵送（書留）のみ	小論文試験 （学修成果としてレポートを 提出した者）	札 幌	平成17年6月12日（日）
			東 京	
			大 阪	
			福 岡	
		面接試験 （専攻区分「音楽」及び「美術」 でレポート以外の学修成果を 提出した者）	東 京	
10 月 期	平成17年10月1日（土） ） 平成17年10月7日（金） ※当日消印有効 ※申請書類の提出方法は 郵送（書留）のみ	小論文試験 （学修成果としてレポートを 提出した者）	札 幌	平成17年12月18日（日）
			東 京	
			大 阪	
			福 岡	
		面接試験 （専攻区分「音楽」及び「美術」 でレポート以外の学修成果を 提出した者）	東 京	平成17年12月10日（土）又 は平成17年12月11日（日） のうち機構が指定する日

○ 学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

当機構では、学士の学位授与制度及び申請方法等について説明した冊子等を毎年度作成し、希望者からの請求により郵送しています。

資料を希望する方は、①希望資料名、必要部数及び電話番号を書いたメモ、②返信用封筒（角形2号

に送料分切手貼付）を同封して、学位審査課に請求してください。

なお、2部以上請求する場合の郵送料等、不明な点がありましたら学位審査課にお問い合わせください。

◎ 独立行政法人大学評価・学位授与機構管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1 Tel 042-353-1550（お問い合わせ専用）

資 料 名	資 料 の 内 容	郵 送 料 (1部のみ請求する場合)
大学評価・学位授与機構から授与される学位を広く理解して頂くために(*)	本機構が授与する「学士の学位」について説明したもの	120円
学士をめざす方へ (リーフレット)	本機構が行う学士の学位授与制度（短期大学・高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等を対象とするもの）を簡略に説明したもの	120円
新しい学士への途 ー学位授与申請案内 平成17年度版ー	本機構が行う学士の学位授与制度（短期大学・高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等を対象とするもの）及びその申請方法などを詳しく説明したもの	240円
平成17年度 学位授与申請書類	学位授与申請に必要な書類等のうち、本機構が指定する書類様式を綴ったもの	200円
科目等履修生制度の開設大学一覧	科目等履修生制度を開設している大学の開設学部、出願期間、授業料などを掲載したもの	580円
大学評価・学位授与機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧	本機構が認定した短期大学・高等専門学校専攻科の学生募集の概要、授業料などを掲載したもの	390円

* 「大学評価・学位授与機構から授与される学位を広く理解して頂くために」を新たに刊行しました。

当機構では、短期大学や高等専門学校卒業生、専門学校修了生を対象に、一定の審査を経て4年制大学で授与する「学士の学位」と同等な「学士の学位」を授与しています。このパンフレットは、機構の審査に合格して「学士の学位」を授与された方に、「学位記」と一緒にお送りして、授与された方とその周りの方に機構が授与する学位について広くご理解を頂くために新たに発刊したものです。

「学士の学位」は国際的に通用する肩書きです。

パンフレットでは、機構について、大学が授与する学位と同等な学位を授与する法的根拠について、機構が授与する「学士の学位」について、審査の内容について及び「学士の学位」を授与する専攻分野について分かりやすく説明しています。機構長からのご理解とお願いのご挨拶もあります。

このパンフレットが、学位を授与された方の学びとお仕事の励みとなればと思います。発刊しました。

機 構 の 窓

○会議の開催状況

大学機関別認証評価委員会

第4回 平成17年2月16日（水）

・議事

- (1) 評価部会及び専門部会の編成について
- (2) 専門委員の選考方針について
- (3) 選択的評価基準「研究活動の状況」の評価方法等について
- (4) その他

短期大学機関別認証評価委員会

第7回 平成17年2月28日（月）

・議事

- (1) 評価部会及び専門部会の編成について
- (2) 専門委員の選考方針について
- (3) 選択的評価基準「研究活動の状況」の評価方法等について
- (4) その他

高等専門学校機関別認証評価委員会

第4回 平成16年12月20日（月）

・議事

- (1) 評価報告書原案について
- (2) 平成16年度実施の高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）に係る意見の申立ての取扱（案）について
- (3) 評価結果の公表について
- (4) 平成16年度実施の高等専門学校機関別認証評価（試行的評価）に係る評価報告書集の作成について
- (5) 今後のスケジュール（案）について
- (6) その他

第6回 平成17年2月18日（金）

・議事

- (1) 高等専門学校機関別認証評価実施大綱及び高等専門学校評価基準について
- (2) 自己評価実施要項、評価実施手引書、訪問調査実施要項について
- (3) 高等専門学校機関別認証評価に係る実施体制について

高等専門学校機関別認証評価委員会運営小委員会

第4回 平成16年12月2日（木）

第5回 平成17年1月17日（月）

第5回 平成17年1月31日（月）

・議事

- (1) 評価報告書（案）への意見の申立て及び評価報告書について
- (2) 評価報告書集について
- (3) 高等専門学校機関別認証評価実施大綱及び高等専門学校評価基準について
- (4) 高等専門学校機関別認証評価に係る実施体制について
- (5) その他

法科大学院認証評価委員会

法科大学院認証評価委員会運営連絡会議

第5回 平成17年2月18日（金）

国立大学教育研究評価委員会

第3回 平成17年2月17日(木)

・議事

- (1) 国立大学法人等の中期目標に係る教育研究評価について
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) その他

国立大学教育研究評価委員会ワーキンググループ

第3回 平成16年12月14日(火)

第4回 平成17年1月25日(火)

学位審査会

第4回 平成17年2月10日(木)

・議事

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査について | (6) 国立看護大学校の修士相当課程に係る認定の審査について |
| (2) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について | (7) 平成16年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について |
| (3) 認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査について | (8) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の申請予定について |
| (4) 短期大学及び高等専門学校の専攻科に係る認定の審査について | (9) 平成17年度の審査スケジュールについて |
| (5) 平成16年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について | (10) その他 |

学位審査会専門委員会<平成16年12月～平成17年2月>

1. 審査事項

- ① 専攻科の認定に係る審査について
- ② 認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について
- ③ 学士の学位授与に係る審査について

2. 開催回数

文学・神学専門委員会		(放射線技術科学部会)	1回
(国語国文学部会)	1回	(理学・作業療法学部会)	1回
(英語・英米文学部会)	1回	(鍼灸学部会)	1回
(独語・独文学部会)	1回	家政学・栄養学専門委員会	
(歴史学部会)	1回	(家政学部会)	1回
(心理学部会)	1回	(栄養学部会)	1回
教育学専門委員会	1回	工学・芸術工学専門委員会	
社会学専門委員会		(機械工学部会)	1回
(社会福祉学部会)	1回	(電気電子工学部会)	1回
教養・学芸専門委員会	1回	(情報工学部会)	1回
法学・政治学専門委員会	1回	(応用化学部会)	1回
経済学・商学・経営学専門委員会	1回	(材料工学部会)	1回
理学専門委員会		(土木工学部会)	1回
(生物学系部会)	1回	(建築学部会)	1回
医学・薬学専門委員会		(造形工学・芸術工学部会)	1回
(医学部会)	1回	農学専門委員会	1回
看護学・保健衛生学・鍼灸学専門委員会		芸術学専門委員会	
(看護学部会)	1回	(美術部会)	1回
(検査技術科学部会)	1回	体育学専門委員会	1回

○ 研究部研究会開催状況

評価研究部研究会

公開研究会

平成17年2月14日（月）

・講演

- (1) オーストラリアの大学評価：ねらいと課題
〔Audit Director, Australian Universities
Quality Agency (AUQA)
Dorte Kristoffersen〕

講演会

平成17年2月17日（木）

・講演

- (1) 大学評価の国際化への対応：欧州の経験と
AUQAでの挑戦
〔Audit Director, AUQA Dorte Kristoffersen〕

学位審査研究部研究会

研究会

平成17年2月22日（火）

・講演

- (1) 学位の構造・機能と国際通用性に関する調査
研究
－編入学者の単位認定について－
〔学位審査研究部客員助教授 平澤 和司〕
〔日本学術振興会特別研究員 林 未央〕

講演会

平成17年2月23日（水）

・講演

- (1) 中国高等教育の現状と政策動向
〔筑波大学大学研究センター客員研究員
黄 梅英〕

○ 海外渡航一覧（平成16年12月～平成17年2月）

所 属 ・ 職 名	氏 名	渡 航 先	目 的	渡 航 期 間
評価研究部・助教授	米澤 彰純	アメリカ合衆国	ユネスコ会議 “Higher Education Ranking System and Methodologies”	H16. 12. 9～H16. 12. 13
評価研究部・助教授	米澤 彰純	ケニア	高等教育改革への取り組み及び日本の高等 教育協力に関する調査	H17. 1. 8～H17. 1. 17
機 構 長	木村 孟	フランス	ユネスコ・OECD高等教育の国際展開にお ける質保証ガイドライン作成会合	H17. 1. 16～H17. 1. 19
評 価 事 業 部 評価調査室・室長	秋保 聡	イギリス	日英高等教育協力プログラム	H17. 1. 28～H17. 2. 7
機 構 長	木村 孟	イギリス	日英高等教育協力プログラム	H17. 1. 29～H17. 2. 4
評価研究部・助教授	米澤 彰純	イギリス	日英高等教育協力プログラム	H17. 1. 29～H17. 2. 6
管 理 部 総務課・課長	齊藤 修	イギリス	日英高等教育協力プログラム	H17. 1. 29～H17. 2. 6

評価研究部・助手	林 隆之	香 港	Asia-Pacific Quality Network	H17. 1.29 ～H17. 2. 2
評価研究部・助教授	井田 正明	韓 国	ICACT2005国際会議にて大学情報に関する研究発表および調査研究	H17. 2.20 ～H17. 2. 24
学位審査研究部・教授	八木 克道	中 国	中国の大学の編入学における単位認定制度等についての実地調査	H17. 2.27 ～H17. 3. 3
学位審査研究部・教授	六車 正章	中 国	中国の大学の編入学における単位認定制度等についての実地調査	H17. 2.27 ～H17. 3. 5
学位審査研究部・助教授	濱中 義隆	中 国	中国の大学の編入学における単位認定制度等についての実地調査	H17. 2.27 ～H17. 3. 5
学位審査研究部・助教授	吉川裕美子	中 国	中国の大学の編入学における単位認定制度等についての実地調査	H17. 2.27 ～H17. 3. 5
管 理 部 学位審査課・課長	鈴木 剛	中 国	中国の大学の編入学における単位認定制度等についての実地調査	H17. 2.27 ～H17. 3. 5

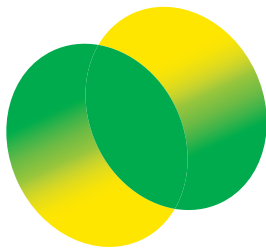
○ 自己啓発研修「一般英会話」(第2回)の実施

機構内において今年度2回目の実施となる自己啓発研修「一般英会話」が、平成17年1月17日(月)から2月10日(木)までの約一ヶ月の間に計8回、参加を希望する機構職員を対象に、自己啓発促進として職員の英会話能力の向上意欲を支援することを目的に行われました。

今回の英会話研修は、昨年に実施された第1回の研修に比べ、より多くの職員が参加を希望し、前回と同様に、研修生の語学レベルに応じた5クラスに分かれ、外部より招いた外国人講師の指導のもとで実施され、研修生は熱心に参加していました。



外国人講師と英語を交える研修生



独立行政法人大学評価・学位授与機構
(National Institution for Academic Degrees
and University Evaluation) のロゴマークが
制定されました。

(平成17年3月15日制定)

編集後記

- ◇ 3月といえば卒業式のシーズンです。まずは、博士の学位授与申請を行った大学院博士課程相当の認定課程（各省庁大学校）修了者19名の皆様、学位取得おめでとうございます。
- ◇ 学位授与事業として、今年は初めて小平の自らの施設で専攻分野『芸術学』の面接試験を実施しました。普段の部屋を「面接仕様」として区切ったり、受験者の作品の保護のために床面やエレベーター内部を養生したりするなど、大変な作業だったようです。また、小論文試験は、札幌、東京、大阪、福岡の各地で実施しました。ご協力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。
- ◇ 大学評価事業としては、平成17年1月14日に、大学、短期大学及び専門職大学院のうち法科大学院の認証評価を行う認証評価機関として、それぞれ文部科学大臣の認証を受けました。
- ◇ 高等専門学校に関しては、この2月に試行的評価を完了し、評価結果を当該高等専門学校及び設置者に通知しました。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。今後、高等専門学校機関別認証評価については、当該委員会において試行的評価の教訓や関係団体等のご意見を踏まえ、評価の方法や基準を審議、決定し、機構として認証評価機関としての申請を行う予定です。
- ◇ 認証評価機関としての認証に先立ち、昨年12月に、各高等教育機関の評価担当者等を対象とした説明会を、大学及び短期大学に関しては札幌、東京、大阪、福岡の4会場で、法科大学院に関しては東京会場で、それぞれ開催しました。
- ◇ また、「機構」の行う認証評価においては、各機関が自ら行う自己評価が極めて重要であるため、大学及び短期大学の自己評価担当者等を対象とした研修会を2月に東京で開催しました。参加者との間で活発かつ具体的な質疑応答がなされ、機構の担当者も認証評価への関係者の皆様の関心の高さを再認識しました。今後とも、大学の質の向上と説明責任の促進を目的とした、より良い評価のシステムを、各高等教育機関やその他関係者の皆様と共に創り上げていくことができればと思います。
- ◇ 今回「Leadership Development」をテーマとした日英高等教育に関する協力プログラムでは、日本から6つの大学が英国を訪問し、マスターコースへの参加、フォーラム及び講演会の開催、そして英国の大学へのスタディ・ビジットを行いました。各協力大学及びプログラム推進組織の皆様の得た経験が、日本の高等教育の質の向上のために広く共有され、かつ効果的に活用されることを願います。
- ◇ 来年度は、これまで以上に大変な1年となりそうです。みんな張り切ってがんばりましょう。
(S. T.)

編集 独立行政法人大学評価・学位授与機構広報委員会

連絡先 〒187-8587

東京都小平市学園西町1-29-1

独立行政法人大学評価・学位授与機構管理部総務課

電話 / Fax 042-353-1516/1552

ホームページアドレス <http://www.niad.ac.jp/>